

日本理科教育学会第 61 回関東支部大会タイムテーブル・プログラム
(確定版 221206v)

SJST61 関東支部大会タイムテーブル

	時間帯	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場
	10:30～	各会場セッションⅠスタンバイ (座長配置、ZOOM立ち上げ、登壇者接続確認)				
I	10:45-12:00	セッション ⅠA (ⅠA-1 ～ⅠA-5)	セッション ⅠB (ⅠB-1 ～ⅠB-5)	セッション ⅠC (ⅠC-1 ～ⅠC-5)	セッション ⅠD (ⅠD-1 ～ⅠD-5)	セッション ⅠE (ⅠE-1 ～ⅠE-5)
	12:00-12:45	昼休み				
	12:45-13:00	各会場セッションⅡスタンバイ (座長配置、ZOOM立ち上げ、登壇者接続確認)				
II	13:00-14:15	セッション ⅡA (ⅡA-1 ～ⅡA-5)	セッション ⅡB (ⅡB-1 ～ⅡB-5)	セッション ⅡC (ⅡC-1 ～ⅡC-5)	セッション ⅡD (ⅡD-1 ～ⅡD-5)	セッション ⅡE (ⅡE-1 ～ⅡE-5)
	14:15-14:30	休憩				
	14:30-14:45	各会場セッションⅢスタンバイ (座長配置、ZOOM立ち上げ、登壇者接続確認)				
III	14:45-16:00	/	/	セッション ⅢC (ⅢC-1 ～ⅢC-5)	セッション ⅢD (ⅢD-1 ～ⅢD-5)	セッション ⅢE (ⅢE-1 ～ⅢE-5)

* 発表時間：

1 件あたり15分 (発表12分 (接続、立ち上げに要する時間を含む)、質疑応答3分)。

時間厳守をお願いします。

第 1 鈴：10 分経過後

第 2 鈴：12 分経過後

第 3 鈴：15 分経過後

SJST61 関東支部大会プログラム(確定版 221206v)

*セクションⅡD、ⅡEのセクション内の登壇発表の順序が先の暫定版プログラム(221126v)から変更されています。お気を付けください。

A 会場		
セクションⅠA (10:45~12:00)		座長：鎌田正裕 (東京学芸大学)
発表番号	時間帯	発表題目・発表登壇者 (所属)
I A-1	10:45~11:00	小学校理科の問題解決過程における科学的思考の実態 ○柳沼優作 (横浜市立三ツ沢小学校)
I A-2	11:00~11:15	アーギュメントの変容と科学的モデリングのプロセスの関連 —小学校第6学年「植物の養分と水の通り道」の事例的分析— ○中野未優 (横浜国立大学教育学部)
I A-3	11:15~11:30	意味形成の視点から捉える教師と子どもの相互作用 —小学校理科「植物の養分と水の通り道」を事例に— ○阿部共沙 (横浜国立大学教育学部)
I A-4	11:30~11:45	前知識の活性化による協働学習に関する考察 ○酒井菜々子 (横浜国立大学教職大学院)
I A-5	11:45~12:00	三種の化学表現の相互リンクによる粒子概念の構築 —中学校理科「状態変化」の単元を事例として— ○平野義典 (横浜国立大学教職大学院)
セクションⅡA (13:00~14:15)		座長：久保田善彦 (玉川大学)
発表番号	時間帯	発表題目・発表登壇者 (所属)
ⅡA-1	13:00~13:15	複数の金属のイオン化傾向を同時に見出す実験教材の開発と実践 ○沼希美 (東京学芸大学大学院)
ⅡA-2	13:15~13:30	高等専門学校入学者の科学的概念の修得状況に関する調査及び素朴概念の修正に向けた授業実践 ○小林和也 (日本工業大学)
ⅡA-3	13:30~13:45	茨城県内における科学施設の学習プログラムの現状 ○中島陽樹 (茨城大学教育学部)
ⅡA-4	13:45~14:00	中学校3年生「2経路課題」に関する生徒の考え方—力学エネルギー実験ブロックセットを用いた実験を通して— ○林宏樹 (成田市立成田中学校)
ⅡA-5	14:00~14:15	ダニエル電池における電極の変化を観察する方法 金属箔を用いたダニエル電池の開発 ○北田健 (東京学芸大学教職大学院)

B会場		
セッション I B (10:45~12:00)		座長：中西史 (東京学芸大学)
発表番号	時間帯	発表題目・発表登壇者 (所属)
I B-1	10:45~11:00	心臓の位置に関する学習指導方策の再検討とその試行－小学校第6学年を対象にして－ ○花形美遥 (都留市立谷村第一小学校)
I B-2	11:00~11:15	ヒトの心筋の代謝に関する認識状態の分析－中学校第1学年を対象にして－ ○佐藤蓮太 (山梨大学大学院教育学研究科)
I B-3	11:15~11:30	食物連鎖に関するプログラミング教材の開発と実践 ○大坪聡子 (つくば市立手代木中学校)
I B-4	11:30~11:45	柴犬由来培養マスト細胞の教材化に向けたエキソサイトーシスの性状分析 ○西川洋史 (埼玉県立進修館高等学校)
I B-5	11:45~12:00	国際バカロレア・ディプロマプログラムにおける個人研究の実践 ○石澤裕佳 (開智日本橋学園中学・高等学校)
セッション II B (13:00~14:15)		座長：佐々木智謙 (山梨大学)
発表番号	時間帯	発表題目・発表登壇者 (所属)
II B-1	13:00~13:15	ゴボウを用いた光発芽実験の授業実践－体験的な学びの「情報としての光」の認識に対する影響－ ○田畑裕風 (東京学芸大学教育学研究科)
II B-2	13:15~13:30	中学校における植物の呼吸を実感できる教材の開発 ○松田大哉 (東京学芸大学大学院教育学研究科)
II B-3	13:30~13:45	中学校理科「人体のつくりとはたらき」における総合的な理解の実態－大学生を対象とした概念調査から－ ○猪瀬愛 (宇都宮大学)
II B-4	13:45~14:00	生活科の評価の特質に関する一考察－実践事例に即したインタビュー調査に基づいて－ ○宮下莉奈 (宇都宮大学)
II B-5	14:00~14:15	幼児期における科学コミュニケーションの新たな展開：園庭からのリアルタイムオンライン星空観察 ○小倉康 (埼玉大学教育学部)

C会場		
セッション I C (10:45~12:00)		座長：西田尚央 (東京学芸大学)
発表番号	時間帯	発表題目・発表登壇者 (所属)
I C-1	10:45~11:00	富士山火山防災に関する中学校理科授業の実践 －噴火口と火山ハザードマップとの連関に着目して－ ○廣瀬祐市 (山梨大学大学院教育学研究科)
I C-2	11:00~11:15	小学校第 5 学年「台風と天気の変化」における統合的な思考支援－モデル教材と ICT を活用した授業デザイナー－ ○渡邊雅浩 (宇都宮大学共同教育学部附属小学校)
I C-3	11:15~11:30	理科授業において「より妥当な考えをつくりだす力」の育成に関する研究 ○斉藤貴司 (羽生市立羽生南小学校)
I C-4	11:30~11:45	知的障害特別支援学校高等部における理科の授業実践－物の溶け方における授業づくりを中心として－ ○岩井祐一 (東京学芸大学附属特別支援学校)
I C-5	11:45~12:00	授業実践においてパフォーマンス評価を用いる視点-FDE 構造と S-T 分析を利用したヤマ場の分析- ○小此木瑞希 (東洋大学大学院)
セッション II C (13:00~14:15)		座長：岩井祐一 (東京学芸大学附属特別支援学校)・西田尚央 (東京学芸大学)
発表番号	時間帯	発表題目・発表登壇者 (所属)
II C-1	13:00~13:15	多様な外的表象のアフォーダンスによる学習の促進と足場かけ ○鈴木進 (横浜国立大学教職大学院)
II C-2	13:15~13:30	メタ認知的知識と理科の見方・考え方との関係性の考察－微視的な視点で現象を捉える学習を通して－ ○齋藤照哉 (横浜国立大学教職大学院教育学研究科)
II C-3	13:30~13:45	理科における協働学習の充実 ○大手孝之 (横浜国立大学附属横浜小学校)
II C-4	13:45~14:00	授業構成からみた院内学級における理科学習の

		実態 ○杉山晴香（横浜国立大学教育学部）
II C-5	14:00～14:15	「科学の本質(NOS)」の理解の特徴に関する一考察 ～NOS の理解を深めることを目指した授業実践の分析から～ ○中込泰規（東京学芸大学附属竹早中学校・東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科）
セッションIII C （14:45～16:00）		座長：中込泰規（東京学芸大学附属竹早中学校・東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科）
発表番号	時間帯	発表題目・発表登壇者（所属）
III C-1	14:45～15:00	理科授業における認知と情意を相互関連させるメタ認知を促進する支援方略に関する研究—小学校6年理科「水溶液の性質」を事例に— ○齊藤徳明（藤沢市立鶴沼小学校）
III C-2	15:00～15:15	中学校理科教科書5社に掲載された「課題」の比較分析 ○加藤大夢（山梨大学教育学部）
III C-3	15:15～15:30	小学校理科教科書に掲載された「吹き出し」の件数と場面 ○杉山雅俊（山梨大学大学院総合研究部）
III C-4	15:30～15:45	拡張的学習の循環における科学概念構築—共同体における多元的思考の促進— ○有泉翔太（川崎市立下沼部小学校）
III C-5	15:45～16:00	リフレクションシートによる振り返りと見通しによる自己の学びの調整—個別最適な学びと協働的な学びを促進する理科授業デザイナー— ○宮野利隆（川崎市立東柿生小学校）

D 会場		
セッション I D (10:45~12:00)		座長：平田昭雄 (東京学芸大学)
発表番号	時間帯	発表題目・発表登壇者 (所属)
I D-1	10:45~11:00	MESH を活用した「電気の利用」単元の実践 ○ 小畑直輝 (聖ヨゼフ学園小学校)
I D-2	11:00~11:15	SDGs 達成のためのキー・コンピテンシーと幼稚園教育要領「健康」との関連—健康教育におけるSTEAM の可能性の探求— ○西垣佳織 (聖路加国際大学大学院)
I D-3	11:15~11:30	小学校理科における実社会・実生活との関連を重視した指導事例の開発—東京都大島町立小学校での実践を想定して— ○南雲万紀 (東京学芸大学)
I D-4	11:30~11:45	E-STEM 教育の視点から構想する水圏環境カリキュラムとその実践—中学校理科を事例として— ○小島雄大 (横浜国立大学大学院教育学研究科)
I D-5	11:45~12:00	中高生の環境中心主義的な環境態度に影響を与える要因の検討—環境倫理の視点を重視した尺度を用いた調査研究に基づいて— ○山本容子 (筑波大学人間系)
セッション II D (13:00~14:15)		座長：山本容子 (筑波大学) ・平田昭雄 (東京学芸大学)
発表番号	時間帯	発表題目・発表登壇者 (所属)
II D-1	13:00~13:15	理科授業における成長マインドセット促進についての検討—統制力の信念を導入して— ○金澤 遼 (茨城大学大学院教育学研究科)
II D-2	13:15~13:30	理科学習における探究過程がもたらす自己決定力の成長 ○田村香穂 (東京学芸大学)
II D-3	13:30~13:45	学習としての評価論に基づく自己調整学習—実証性・再現性・客観性の観点に基づく自己評価・相互評価を基盤として— ○森川大地 (板橋区立桜川小学校)
II D-4	13:45~14:00	概念の形成過程を重視した学習指導案に関する一考察—OPPA 論に注目して— ○稲木颯希 (埼

		玉大学)
IID-5	14:00~14:15	教師の教育観の変容による授業改善 —OPPA論を中心として— ○山口真一 (春日部市立春日部中学校)
セッションⅢD (14:45~16:00)		座長：小倉康 (埼玉大学)
発表番号	時間帯	発表題目・発表登壇者 (所属)
ⅢD-1	14:45~15:00	中学校理科における認知欲求が仮説設定に及ぼす影響の解析 ○野崎優晴 (横浜国立大学教職大学院高度教職実践専攻)
ⅢD-2	15:00~15:15	学習指導要領改訂に伴う理科教科書における「問い」の性質の変遷 ○栗原一平 (東京学芸大学)
ⅢD-3	15:15~15:30	那覇市の小学校での実践を想定した防災教育クロスカリキュラムの設計 ○亘保夢海 (東京学芸大学)
ⅢD-4	15:30~15:45	東京都大島町での実践を想定した中学校第一学年「大地の成り立ちと変化」の学習における地域の自然事象からのアプローチ ○小林菜々子 (東京学芸大学)
ⅢD-5	15:45~16:00	2020年前後の高等学校理科における自然災害防災教育の実状 ○三浦健太 (東京学芸大学)

E 会場		
セッション I E (10:45~12:00)		座長：松浦執 (東京学芸大学)
発表番号	時間帯	発表題目・発表登壇者 (所属)
I E-1	10:45~11:00	SSH の探究活動における高校生の批判的思考力の実態調査 ○福井悠斗 (茨城大学教育学部)
I E-2	11:00~11:15	生命領域の文脈における p-prims の表出の検討— 目的論的説明・擬人的説明に着目して— ○川又颯人 (茨城大学教育学部)
I E-3	11:15~11:30	NOS の理解度向上のための科学史を利用した明示的指導 ○十文字秀行 (清真学園高等学校・中学校)
I E-4	11:30~11:45	実験結果が生じた理由を推論・表現する際の認識傾向と課題 — 小学校第 5 学年「流れる水のはたらき」の学習を事例として— ○中西大生 (都留市立谷村第一小学校)
I E-5	11:45~12:00	理科学習における「表現」の実際 「大気圧」の簡易実験を通して ○前田善仁 (東海大学)
セッション II E (13:00~14:15)		座長：宮本直樹 (茨城大学)
発表番号	時間帯	発表題目・発表登壇者 (所属)
II E-1	13:00~13:15	中堅教員による理科授業の実践に関する調査— 小学校・中学校・高等学校に着目して— ○仲井勝巳 (聖学院大学・大阪総合保育大学大学院博士後期課程)
II E-2	13:15~13:30	特別な支援を必要とする子どもの理科における取り組みに関する研究— 発達障害の傾向のある子どもを対象に— ○中島慶哉 (千葉大学教育学部)
II E-3	13:30~13:45	実験操作に対する中学生の認識に関する研究 — 中学第 2 第 3 学年の生徒を対象とした質問紙調査から— ○渡邊颯 (千葉大学大学院)
II E-4	13:45~14:00	磁石・電流・電磁石に関する中学生の誤概念調査 — 「電流と磁界」領域の教授法開発にむけて— ○大杉美幸 (千葉県柏市立田中中学校)
II E-5	14:00~14:15	高校生がもつ進化の科学的妥当性の認識と NOS の理解の実態 ○吉岡和希 (筑波大学大学院)

セッションⅢE (14:45～16:00) 座長：出口明子（宇都宮大学）		
発表番号	時間帯	発表題目・発表登壇者（所属）
ⅢE-1	14:45～15:00	科学的概念や考えの形成過程に注目した資質・能力の育成-OPPA 論の開発に関する分析を中心に- ○天貝光寿（埼玉大学）
ⅢE-2	15:00～15:15	子どもの主体的学びを志向した理科教授・学習プロセスの検討—中学校講座学習「ブーメランを飛ばそう」の構想と実践 ○高松大地（国土舘大学文学部教育学科）
ⅢE-3	15:15～15:30	「体験」の発展拡充を目指す「体験教育」の実践に関する検討 ○中村竜征（茨城大学大学院教育学研究科）
ⅢE-4	15:30～15:45	<発表取り下げ>
ⅢE-5	15:45～16:00	証拠の概念に関する英国の大学生の理解 ○山本歩実（千葉大学教育学部）